



ジャンプタイムス

宇美町スポーツ少年団
 〒811-2121 宇美町平和1-1-1
 宇美町住民福祉センター内
 携帯 090-9573-1988
 ☎ 092-933-2784
 Fax 092-933-2741
 メール umi-machi.j.s.c.a@leo.bbq.jp
 編集:スポーツ少年団事務局

シップス活動交流会を開催 みんなで跳んで投げて引っ張ろう

令和5年9月3日(日)に宇美町総合スポーツ公園において、シップス活動交流会を開催しました。大変暑い中でしたが、7単位団42人が参加し、大縄跳び・いろいろドッジボール・5本綱引きの3種目で勝敗を競いました。

コロナ禍で3年間開催できなかった交流会でしたが、新しく入会したリーダーがオープニングのレクリエーションや班付きリーダーとして頑張ってくれて、楽しい全体交流会を開催することができました。



大縄跳びは声を掛け合いタイミングを合わせよう



アイスブレイクレクリエーション(人間知恵の輪)



二つの異なるボールを使ったいろいろドッジボール



芝生のグラウンドいっぱいを使った五本綱引きはチームワークと作戦が大切

熱中症予防講習会を開催 まだまだ暑い日は続くよ 水分補給はしっかり行おう

シップス活動交流会の後に、宇美南町民センター研修室において、大塚製薬の協賛による熱中症予防講習会を開催しました。

団員レベルの熱中症予防講習会は毎年シップス活動交流会とセットで開催しています。

シップス活動交流会で、しっかり汗をかいた後の講義だったので、水分補給の大切さを身をもって理解できたと思います。

宇美町スポーツ少年団では、創立以来29年間にわたって、毎年団員レベル、リーダーレベル、指導者レベルに分けて熱中症予防講習会を開催してきました。

こうした取り組みの成果もあって、熱中症に対する意識は大変高く保たれています。



宇美町スポーツ少年団では創立以来熱中症の重大事故は発生していません。これはたまたまではなく、指導者や育成母集団でしっかり取り組んできた成果だと考えています。

創刊50号記念特大号！これからもみんなに愛されるジャンプタイムスを編集していきます。

第50回日独スポーツ少年団同時交流in宇美町 次は君たちがドイツに行く番だよ！

今年で50回目を迎えた日独スポーツ少年団同時交流では、8月5～8日の日程でノルトライン・ヴェストファーレン州から6人のドイツ団が宇美町を訪れました。

台風の影響で1日前倒しとなりましたが、リーダー会のメンバーとホストファミリーを中心に素敵な交流を行いました。

次は君たちがドイツに行く番だよ。



宇美太鼓との素敵な和太鼓交流



長崎県島原市からフェリーで熊本港にやってきたドイツ団を、九州を代表する雄大な自然と大地の力を感じてもらいたくて、阿蘇山の草千里と中岳火口見学に連れていきました。



今回の交流は素敵なホストファミリーに恵まれ、ウエルカムレセプションではビンゴゲームなどで大いに盛り上がりました。残り二日間の交流がとても楽しみです。

日独交流2日目は宇美太鼓のご協力で和太鼓体験を行いました。思いきり叩いて最後は一曲演奏できるようになりました。

また、宇美町弓道部のご協力で弓道体験を行い日本武道の神髄に触れることができました。



宇美町スポーツ少年団では豊かな国際交流をととして青少年を国際人に育てています。



歴史民俗資料館で勾玉づくり体験



宇美八幡宮では「日本一の楠の森」のパワーを感じました



3日目は宇美町長の表敬訪問を行い、町長も有意義な議論ができた喜んでいました。また、宇美町リーダー会と「スポーツとSDGs」というテーマでのテーマディスカッションを行いました。

宇美町リーダー会からは「全体奉仕活動」と「アクティブ・チャイルド・プログラム」の取組を発表し、ドイツ団も身近に考えるSDGsをテーマに、クイズ形式で楽しくSDGsを考えました。



日独交流のだいご味はやっぱり**ホストファミリー交流**よね

日独交流では多くの体験プログラムを準備していますが、その中でもホストファミリーとの交流が一番大切にしています。

今回も6つの家族がホストファミリーとして協力してくれました。次回もぜひご協力いただきたいと思います。

ホストファミリーの手厚い「おもてなし」にドイツ団も大満足だったようです。



12年ぶりの日独交流は大成功！来年以降はリーダーをドイツに派遣する計画です。

中体連でスポ少の団員が大活躍！

UGTCジュニア陸上教室

UGTCは、小中学生を対象に活動しており、中学生は約20名が学校の垣根を越え一緒に練習を行い、中体連等の各種大会に参加しています。

今年の中体連陸上は、糟屋区大会において、優勝(2種目)、2位(2種目)、3位(4種目)のほか入賞者多数で上位大会へ進出。続く筑前地区大会も1位(1種目)をはじめ3名が県大会に出場し、上位入賞者も出るなど今年も好成績を収めました。

町内の中学校における陸上部活動の状況は、陸上部のある学校があれば、ない学校もあります。そのような中、中体連には学校単位で登録し参加することになるため、日頃から学校との連携を図り、理解や協力を得て参加することができています。

今、「運動部活動の地域移行」が大きな話題となっており、保護者や地域・スポーツ関係者の関心を集めていますが、宇美町では陸上部もモデル事業の対象となり、UGTC指導者が宇美中陸上部を指導しています。休日のみの地域クラブ活動ですが、教員の負担軽減に繋がり、中学生の練習の質も確保できているのは、スポーツ少年団での活動ノウハウがあるからかと感じています。

今後の動向がますます注目される部活動の地域移行ですが、まずは私たち大人が、『プレーヤーズセンタード(選手を中心に、成長を支援すること)』



を念頭に、地域で子ども達を育てていく、新しいスポーツ環境を構築していくことが求められています。

【中体連入賞者】

糟屋区大会

- 1位 安居 孝晃 (男子110mハードル)
- 1位 瀧下 小遥 (1年女子100m)
- 2位 工藤 晃 (男子110mハードル)
- 2位 嶋野 莉子 (女子80mハードル)
- 3位 工藤 晃 (男子200m)
- 3位 山崎 杏乃 (3年女子100m、走幅跳)
- 3位 嶋野 莉子 (2年女子100m)

筑前地区大会

- 1位 嶋野 莉子 (女子80mハードル)
- 3位 渡邊 幌大 (2年男子100m)
- 6位 安居 孝晃 (男子110mハードル)

福岡県大会

- 3位 嶋野 莉子 (女子80mハードル)
- 7位 渡邊 幌大 (2年男子100m)

筑前地区大会初優勝 宇美町初心者バドミントンクラブ

6月17日須恵東中学校体育館で、中体連バドミントン大会が開催されました。宇美中学校では初めて団体女子が出場して3位となり、筑前地区大会に選出しました。個人戦では、宇美東中学校の折居巧磨君がシングルス3位、宇美中学校の磯邊 明也君、笹栗 柗平君がダブルスで優勝して共に筑前地区大会に出場しました。

筑前地区大会では女子団体、シングルスは残念ながら一回戦敗退となりましたが、ダブルスは見事優勝を果たし、県大会に出場しました。

7月30日の県大会では、2回戦敗退となりベスト16で3年生最後の中体連は終わりましたが、有終の美を飾ってくれました。



宇美町スポーツ少年団では約120人の中高生団員が所属し活躍しています。

中体連全国大会初出場 宇美剣友会少年剣道

宇美剣友会少年剣道 永井 陽咲

7月30日筑後広域公園体育館において開催された「第75回福岡県中学校総合体育大会」に出場しました。

各地区の予選を勝ち抜いた選手が集まり、緊張感漂うレベルの高い試合でした。初戦から自分なりに落ち着いた試合運びができ、勝利することができました。

続く2回戦・3回戦と試合が続くにつれ動きも良くなり、準決勝では100%の力が出せ2本勝ち、九州大会・全国大会への切符を手にすることができました。

九州大会・全国大会では、上位進出することはできませんでしたが、全国トップレベルの選手と剣を交え、動きや気迫を間近に感じることができ、大変勉強になりました。

全中という舞台に立てたこと、かけがえのない経験ができたのは、いつも指導して下さる先生方、辛い時も一緒に汗を流してくれた部員、いつも支えてくれる保護者の皆様のおかげだと感謝しています。この経験を活かし、高校でも剣道を続け日本一になります。



宇美町少年柔道教室

最後の中体連を終えて 宇美町少年柔道教室 榎本 誉

僕は、幼稚園の頃から宇美町少年柔道教室に所属していて、日々稽古してきました。中学生になり練習内容も厳しくなった事によって相手も強くなり、身の入った練習ができるようになりました。試合にも少しずつ勝つ事が増えたけど、筑前大会、県大会に進んで行くにつれ相手も強くなっていき、勝つ事が難しくなってきました。

去年僕は、筑前大会で負け、3位で県大会に出場し、一回戦で負けてしまい悔しい思いをしました。今年も去年負けた相手がいたので、リベンジをするため気合を入れ全力を尽くしました。しかし、今年も一回戦で負けたことが心残りになってしまいました。だから高校では、稽古を休まず努力して、去年と今年負けた相手に勝てるように頑張りたいと思います。

そして宇美町少年柔道教室で学んだ礼儀などを忘れず、これからも日々練習に励んでいきたいです。



宇美町は日本でも有数の武道が盛んな町なんだよ！さあ君も武道で心と身体を鍛えよう！

全国空手道選手権大会に出場 日本空手宇美支部

二度目の全国大会

日本空手宇美支部 内村 翔優

僕は、8月5日と6日に開催された小中学生の全国空手道選手権大会に出場しました。

試合の直前は、アップの時に兄から教えてもらった技やステップや入り方をしっかり試合で出すことだけを考えていました。一回戦では相手が先にポイントをとりましたが、今回は焦らず動くことができ、ポイントを取り返すことができました。

試合は延長に入り、練習でした動きができるように考えて動こうと思いました。

相手の間合いに入ってその技を使うときれいに入ったので試合に勝つ事ができました。

二回戦は、自分は1ポイントも取れずに負けてしまいました。二回戦の反省は、相手は中段が得意で自分は得意でもないのに中段を狙いに行ってしまったため負けたと思います。

大会が終わって、今後は注意されたことや同級生の試合を見て、大会で学んだことを次に生かしていきたいです。



高校3年 伊藤 大珠

今回初めて全国大会に出場することができました。僕は、組手の個人戦と団体戦に出場しました。大きな試合の空気感と緊張感は、今まで味わったことのない感覚でした。その中で思いっきりできたので嬉しかったです。

福岡代表の強い選手と友達になることができ、共に強化練習や全国大会に出場できたことを誇りに思います。

体力的にも技術的にもまだまだ足りていないので、これからも一生懸命練習に励み、来年も全国大会出場できるように頑張ります。貴重な体験ができたことに感謝します。

オーシャンカップを開催 ミニバスケットボール



4月29日原田小学校、30日井野小学校にて第14回オーシャンカップを開催し、宇美町内3チームと県内10チームで熱戦を繰り広げました。

宇美町の3チームの6年生に試合後の感想を聞きました。

〈宇美ドリームダンカース・伊豆丸芽依〉

結果は、3勝2敗でした。今までのオーシャンカップの中で一番楽しかったです。なぜなら3勝もできたからです。去年ドリダンは最高学年が5年生で、負けてばかりでした。終わってから悔しくてみんなで泣いたこともありましたが、今回勝てた試合は、みんなで大喜びしました。試合に勝てるとこんなに楽しいんだなと思いました。これからももっと勝ちたいし、みんなとならもっと勝てると思います。

私ももっと練習を頑張って、もっとうまくなりたいと思います。

〈原田バンビーズ・藤原 ゆい〉

1日目の試合では、結果が良くなくとでも悔しい思いをしました。2日目にその悔しい気持ちをバネに勝つぞと気合いを入れてがんばり、一勝することができて嬉しかったです。

オーシャンカップを通してチームの力が全体的に伸びていて、特にディフェンスをがんばっていたと思います。対戦相手の監督さんからは「挨拶の声が大きくて良いね。」と褒めてもらえて、チーム全体が成長していると感じました。これからも、沢山練習をして沢山学び成長していこうと思います。

〈桜原MBC・山脇 舞花〉

桜原は4月からチームのメンバーが増えて17人になりました。チームで協力する力を高め、去年よりも高い目標を持ち、オーシャンカップに挑みました。去年は、まだ人数も少なく、結果があまり残せなかったけど、今年のオーシャンカップでは、私達が目標にしていた優勝ができました。

バスケのプレイ以外のあいさつや礼儀のことにもチームのみんなで声をかけ合って意識することができました。これからも公式戦などの大切な試合があるので、チーム一丸となってがんばっていききたいです。

オリンピックがやってきた ジュニアバドミントン合同強化練習会



アテネオリンピック出場の森かおりさん

「練習会で学んだこと」 中野 こよ美

私が練習会で学んだ事の一つ目は、ステップなどを細かくして動くということです。講師の森さんに「もう少しステップを細かくすれば、早く動けるよ」と言われたのでやってみると、今まで取れなかったような球でも取れるようになりました。

二つ目は、スマッシュやプッシュを打つときの打点の高さです。講師の森さんがプッシュのお手本を見せてくれました。森さんは、シャトルが落ちてくるのを待つのではなく、打点が高いうちに打っていて、それにとっても速い球でした。これからもこれらを意識して頑張っていきたいです。

「初めての練習会」 水島 拓

ぼくは、初めて練習会に参加しました。講師には、アテネオリンピックに出場した森かおりさんが来てくれて、ステップや打ち方のお手本を見せてもらいました。それを見てぼくは、ステップや打つスピードの速さにおどろきました。森さんからは、いつもの練習ではやったことがないステップのやり方やフェイントの仕方を教わりました。

この練習会で習ったことをこれからの練習や試合に活かしていきたいです。

第1回将炎杯で優勝 原田WINGS



原田WINGS 席 聡美

7月の終わりに長崎で開催された「第1回将炎杯」に参加してきました。

夏の県予選で敗退した事を活かし、6年生が中心となり試行錯誤しながら見事、優勝することができました！

朝から応援に来て頂いていた保護者さんも力の限り声援を続けていたその姿が、大会主催者の心に響いたようで、保護者さんも「グッドサポート賞」を頂きました。これからもチーム一丸となり、保護者さんの愛に背中を押されながら頑張りたいと思います！

陸上競技福岡県大会で 小中学生が入賞 UGTCジュニア陸上教室



6月17日（土）と18日（日）、北九州市本城陸上競技場で開催された第13回福岡県中学校陸上競技選手権大会・第40回福岡県小学生陸上競技大会に、UGTCジュニア陸上教室に所属する小中学生が参加し、2名が上位入賞する大活躍を見せてくれました。

○中学女子低学年80mハードル

嶋野 莉子(宇美中2年) 3位

○小学男子コンバインドB(走幅跳、ジャバボール投)

安部 力輝(桜原小6年) 3位

いろんな種目で女子団員も増えてきているよ！どんどんチャレンジしてみてネ！

yell grow U10大会で優勝！ 宇美ドリームダンカーズ



8月11・12日にミニバスケットボールの4年生以下大会「yell grow U10」が開催されました。普段は上級生の応援が多く、出番が少ない4年生以下の選手たちが、この日は主役となり生き生きとプレーすることができました。私たちのチームは団員数も多く、4年生以下でも20人の在籍があるので、3・4年生のAチーム、1・2年生のBチームで参加し、Aチーム全勝、Bチーム全敗の結果で終わりましたが、全員がシュートを打ち、試合初参加の子も点を決めることができ、選手たちにとって楽しく思い出に残る大会になりました。また、会場責任チームとして朝早くからコートでの準備をすることで、日頃の大会関係者の方々の大変さを知り、感謝の気持ちも持つことができた貴重な大会でした。

「練習したパスで全勝できてよかったです」

Aチームキャプテン・中村 匠翔

「賀茂クラブに勝ちたかったです」

Bチームキャプテン・欠掛 葵士



天草の海で何を見つけた？ 九州ブロックスポーツ少年大会に参加

8月18日（金）～20日（日）に、熊本県立天草青年の家で開催された、第55回九州ブロックスポーツ少年大会に、宇美町スポーツ少年団リーダー会から、合気道祥雲塾の小林瑠果さん（小5）と、初心者バドミントンクラブの磯邊心輝さん（小5）の2名が参加しました。

ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）交流会や、ペーロン漕艇体験、防災プログラムとして新聞紙を使ったスリッパづくりや、記念品の貝殻ストラップづくりを体験しました。

最終日には、熊本城に行き復興の様子を見学することができました。

九州各県のリーダーと素敵な交流ができ、夏休み最高の思い出をつくることができました。



ペーロン漕艇体験や復興が進む熊本城の見学など「熊本ならではの」を体験してきました



新幹線で一路熊本へ



リーダー会に入ると国際交流や国内交流に参加するチャンスが巡ってきます。君もリーダー会に入ろう！

全体奉仕活動で林崎運動公園多目的広場を整備 宇美ジュニアーズ球団



団員・指導者・保護者全員で清掃活動を行います



1人もさぼらずにゴミ拾いや草取りを行いました

宇美町スポーツ少年団では、活動の主となるスポーツ活動以外にも、社会貢献活動や、文化学習活動、野外活動、各種交換交流活動、体力測定等を行っています。

特に大切にしているのが社会貢献活動で、毎年6月を全国の仲間と共に実施する「一斉清掃活動」と位置付け、日ごろ使っている施設の清掃活動や、周辺のゴミ拾いなどを行っています。

団員達も、「一般の利用者の方々にも気持ちよく施設を使ってもらいたい。」と熱心に清掃活動を行っています。

地域社会と密接に係わりながら活動するのがスポーツ少年団です。

清掃活動もユニフォームを着用して、地域の方々積極的にPRしています。

夏祭りの伝統は僕らが受け継ぐ 宇美ジュニアーズ球団がお神輿かついだよ

令和5年7月22日（土）、朝から強い日差しが照りつける中、上宇美本通り地区で「旭地蔵尊夏祭」が行われ、宇美ジュニアーズ球団が参加し、団員みなでお神輿をかつぎました。

このお祭りは、いつも子ども達を見守ってくださるお地蔵様を年に一度ピクニックに連れて行くという100年以上前から続く伝統的なお祭りです。

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となり、子ども達もはじめは緊張していましたが、元気いっぱい掛け声を出して、町の人に勢い水をかけてもらいながら、町内を練り歩きました。

スポーツ少年団では、地域の担い手を育てることを念頭に、お祭り等の地域行事への参加を推奨しています。

素敵な夏の思い出とともに、地域を愛する青少年の育成に力を入れています。

上宇美本通り地区の皆さん、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



各単位団の特徴ある取り組みや大会の結果等を掲載しますので、写真を添えてどしどし投稿してください。

誰もが生きやすい共生社会の実現に向けて 第2回宇美町スポーツフェスタを開催します



アンプティサッカー体験

ブラインドマラソン
伴走を続けてこられた
堀内規生さん

デフサッカー日本代表松元卓巳さんとPK対決

11月5日(日)に宇美町総合スポーツ公園と宇美南中学校体育館で、第2回宇美町スポーツフェスタが開かれます。

午前の部は、アンプティサッカー（松葉杖を使うサッカー）とデフ・サッカー（聴覚障がい者のサッカー）の体験会と、誰もが気軽に楽しめるポッチャ交流会が開かれます。ポッチャは3人でチームを作って参加してください。

午後の部は中央公民館大ホールで、共生社会実現に向けた講演会が開かれます。

リオデジャネイロパラリンピック・女子ブラインドマラソンで銀メダルを獲得された道下美里さん（東京パラリンピックでは金メダル獲得）の伴走者を長年務めてこられた堀内規生氏を迎え『伴走愛～スポーツの力で世界を繋ぐ～』の演題で講演会が開かれます。

講演会は、第2回指導者母集団研修会として開催しますので、各单位団から10名以上の参加をお願いします。

福岡県ACP普及促進研修会を開催 運動遊びで単位団を元気に

7月23日(日)に宇美南町民センターにおいて、ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）普及促進研修会を開催し16人の指導者が参加しました。

今回は、90分の講義と120分の実技講習を行い、約30種の運動遊びを体験しました。

ACPとは文科省が日本スポーツ少年団に委託して、運動遊びを中心に子どもたちが明るく元気にスポーツ活動を行えるよう開発されたプログラムで、特に未就学児や小学校低学年の子どもたちが運動遊びをとおして、楽しみながら様々な身体の動かし方を身に付けることで身体能力や運動神経の向上に繋がります。

今回学んだことを単位団で活用して、明るく楽しい単位団をつくりより多くの子どもたちがスポーツ活動に参加してほしいと願っています。



指導者の横顔
至道会館空手道連盟宇美支部
日比生忠博さん(教士6段)

空手を始めたきっかけは、高校1年生の頃、担任が空手道部の顧問で、勧められたこともあり、まずは、高校の部活動で空手を始めました。高校の部活動を継続しながら、同級生が通っていた空手道場を紹介してもらい、御手洗先生の下で空手の指導を受けるようになりました。

幼少の頃から喘息を患い、小学生、中学生では、水泳、剣道、野球などの運動をやってきましたが、喘息を克服することはできませんでした。

空手を始めて、特に呼吸を意識して声を出し、懸命に練習してきた甲斐もあってか、現在は喘息はおろか他の病気も思うことなく、健康な身体を維持することができているそうです。



常に向上心を持ち昇段試験にもチャレンジされています

指導に当たり心掛けていることは、子どもたちが前向きに練習に取り組めるよう配慮し、失敗や覚えが悪くても、それを責めることなく、その子の良いところを見つけて褒めるように気をつけ、指導者のせい空手を嫌いにならないよう配慮されています。

子ども達へのメッセージは「一度や二度の失敗などでめげずに何度もチャレンジして自分の人生を切り開いてくれることを願っています」と話されました。

令和5年度感謝状贈呈
至道会館空手道連盟宇美八幡支部
宮崎順治さん



令和5年度宇美町スポーツ少年団功労者表彰が行われ、平成31年度から令和4年度にかけて本部役員の会計をお勤めいただいた、至道会館空手道連盟宇美八幡支部の宮崎順治さんに工藤本部長より感謝状と記念品が贈られました。

スタートコーチ養成講習会
令和6年2月18日(日)
宇美南町民センターで開催

宇美町スポーツ少年団では、認定員養成講習会に代わるスタートコーチ養成講習会を、令和6年2月18日(日)に、宇美南町民センターで開催します。

現在、宇美町スポーツ少年団に登録している指導者は156名、その内公認資格であるスポーツリーダー資格を所有されている公認有資格指導者は120名です。

残り36名の指導者の皆様には、スタートコーチの資格を取得していただき公認有資格指導者として活動していただきたいと願っています。

上位資格の取得等にもつながる大切な講習です。ぜひお申し込みください。

期日:令和6年2月18日(日)
場所:宇美町地域交流センター多目的ホール
締切:令和6年1月25日(木)
内容:講義「スポーツの意義と価値
スポーツ少年団とは」他
グループワーク

※実技講習は行いません
※お問い合わせはスポ少事務局まで



今年リーダー会に意欲的で素敵な仲間が沢山入会しました。日独スポーツ少年団同時交流や全国・九州ブロックスポーツ少年大会などで、沢山の経験を積んでみんなが憧れるリーダーに成長しよう。

宇美町スポーツ少年団リーダー会では、只今新規会員大募集中です。

定例会では、各単位団で未就学児や低学年の団員も楽しめるACP(アクティブチャイルドプログラム)や各種レクリエーションの運営法を学んでいます。

昨年度までコロナ禍で多くの事業が中止になりましたが、今年から九州ブロックスポーツ少年大会への派遣や日独スポーツ少年団同時交流への参加など、内容盛りだくさんで活動しています。

只今！新規会員大募集中
宇美町リーダー会

宇美町スポーツ少年団リーダー会の主な活動

定例会の開催とレクの実技研修



偶数月の第3日曜に定例会を行っています。各単位団で活用できるレクリエーションを学びます。シップス活動交流会で行う「人間知恵の輪」を体験中。

Jr.リーダースクールの企画運営



ジュニアリーダースクールでは、レクリエーション研修の企画運営を行うとともに、班付リーダーとして各班の団員を取りまとめ引っ張っていきます。ジュニアリーダー資格の取得だけでなく、リーダー会活動の集大成の場として活用しています。

全国の仲間たちとの交流



九州ブロックスポーツ少年大会でペーロン漕艇を体験

福岡地区交流事業や県リーダー研修会・ジュニアリーダースクールでは中心的な役割をはたしています。

また、九州ブロック研究大会にもリーダー会員を派遣しており、これら多くの交流事業での経験が、中学・高校・社会人になってから生きてきます。

リーダー会員認定証を 発行しています

リーダー会のメンバーは、日本スポーツ少年団の公認資格であるジュニアリーダーやシニアリーダー資格を取得して頑張っています。

高校や大学等の受験を行う際に有利になるよう、内申書などの調査票にリーダー会での活動を記載してもらえようように、所属する学校長あてに「宇美町スポーツ少年団リーダー会員認定証」を本部長名で発行しています。

リーダーの活動は、スポーツ少年団本部が精いっぱいバックアップしていきますので、三者面談などでのPRも忘れずに行ってください。

宇美町リーダー会の活動では
宇美町社会福祉協議会

が取り組む**赤い羽根共同募金
助成金**を活用しています

リーダー会に入ると国際交流や国内交流に参加するチャンスが巡ってきます。君もリーダー会に入ろう！